

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 配 布

配 布 日 時	平成 2 1 年 6 月 1 9 日(金) 1 4 時 0 0 分
------------	---

件 名	第 7 回「大滝ダム運用環境調査委員会」を開催します。
-----	------------------------------------

概 要	今回の委員会では、平成 2 0 年度調査結果報告と平成 2 1 年度の調査計画について審議されます。 委員会の審議は非公開とします。 委員会の審議に先立ち頭撮りは可能とします。 委員会終了後、記者会見を実施します。
-----	---

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 副所長 河南 良男 管理課長 野田 成三 電話 ： 0 7 4 7 - 2 5 - 3 0 1 3
------	--

第7回「大滝ダム運用環境調査委員会」を開催します。

1、開催主旨

「大滝ダム運用環境調査委員会」は、大滝ダムの貯水池運用に伴う吉野川の自然環境の実態を調査することを目的として平成17年10月27日に設立されました。

今回の委員会では、平成20年度調査の結果報告と平成21年度の調査計画について審議されます。

2、委員会メンバー

◎委員長 田中 哲夫 （兵庫県立大学 准教授）

○委員 井伊 博行 （和歌山大学 システム工学部 教授）

○委員 角 哲也 （京都大学 防災研究所 教授）

○委員 竹門 康弘 （京都大学 防災研究所 准教授）

○委員 矢田 敏晃 （元大阪府立淡水魚試験場 場長）

3、開催概要

1. 開催日時

○平成21年6月23日（火） 14:00～16:00

※記者会見は16:30～16:50

2. 開催場所

○大阪国際交流センター 3F 会議室1・2（大阪市天王寺区上本町8-2-6）

TEL: (06) 6772-5931

3. 開催内容

○平成20年度調査の結果報告

○平成21年度の調査計画について

4、その他

○委員会の審議は非公開とします。

○委員会の審議に先立ち頭撮りは可能とします。

○委員会終了後、記者会見を実施します。

○委員会資料は、後日、事務所ホームページで公開します。

5、経緯

○平成17年10月27日「大滝ダム運用環境調査委員会」を設立

○平成18年 5月10日「第2回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
・吉野川の環境変化をモニタリングするための調査方針・計画について

○平成18年12月7日「第3回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
・平成18年度に実施した調査のうち、10月までの結果報告について

○平成19年4月18日「第4回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
・平成18年度に実施した調査結果報告について

○平成19年12月27日「第5回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
・平成19年度に実施した調査のうち、10月までの結果報告について

○平成20年5月20日「第6回大滝ダム運用環境調査委員会」実施
・平成19年度に実施した調査のうち、11月から3月までの結果報告について

【 参 考 】

大滝ダム運用環境調査委員会

○委員会の目的

大滝ダム及び貯水池運用に伴う吉野川の環境変化をモニタリングし、河川環境に対する影響を少しでも軽減するダムの運用方法を探る。

○調査内容

☐短期的調査（H18～H21）

暫定運用実施における吉野川の生態系に及ぼす影響を調査する。

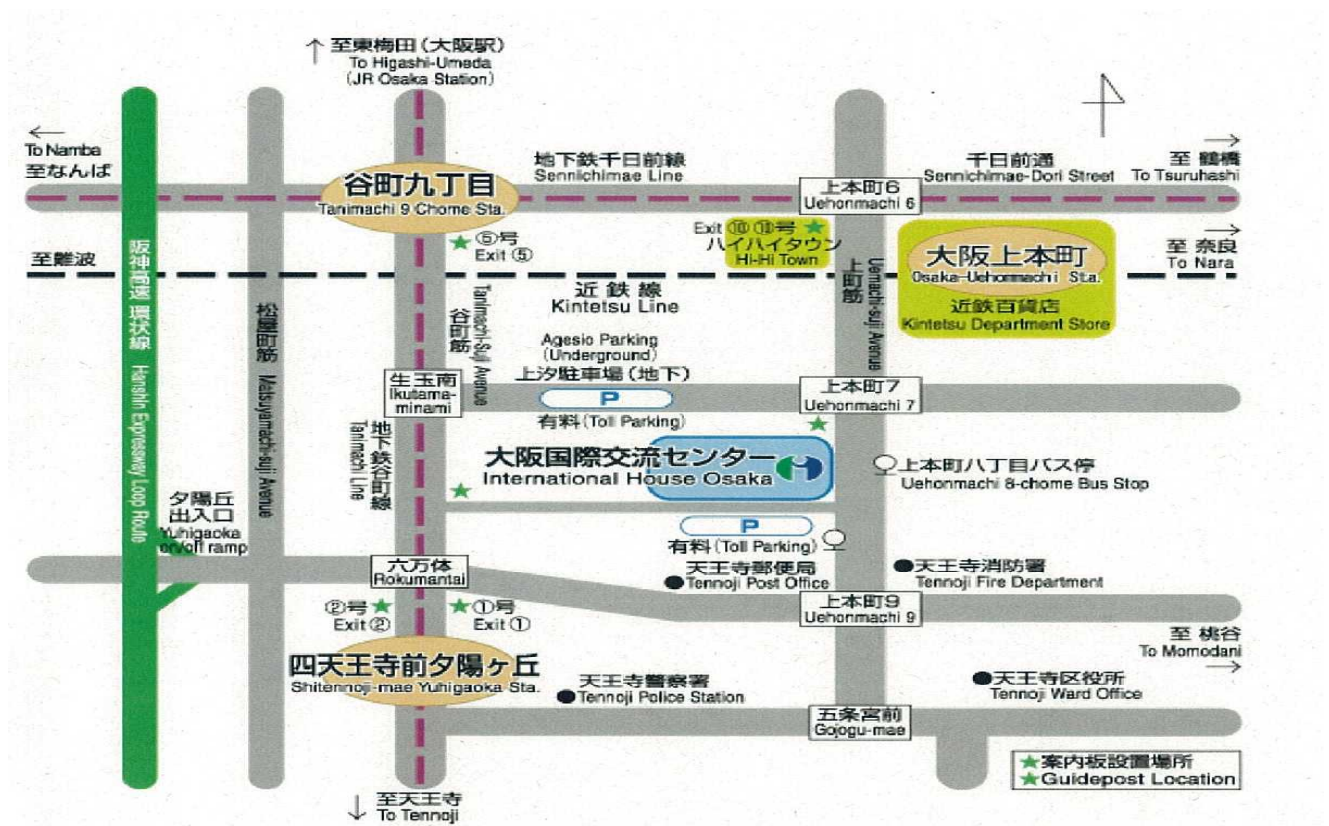
- ・ダムのある河川（吉野川本川）とない河川（支川高見川）の比較
- ・非出水期間にダムの利水効果を発現するために暫定的に貯水位を上げていたが、出水期に備えた水位降下時に下流河川に与える影響を調査する。

☐長期的調査（H18～）

ダム下流環境の変化を調査する事によってダムの影響過程を明らかにすると共に、ダム本格運用後との比較が出来るようにデータを整理する。

- ・ダムのある河川（吉野川本川）とない河川（支川高見川）の比較
- ・ダム完成前後の比較

最寄り駅からのご案内



電車をご利用の場合

- 大阪方面から・・・地下鉄谷町線「東梅田」より「谷町九丁目」下車
- 新大阪駅から・・・地下鉄御堂筋線「なんば」で千日前線のりかえ「谷町九丁目」下車
- 天王寺方面から・・・地下鉄谷町線「天王寺」より「四天王寺前夕陽ヶ丘」下車
「あべの橋」発「天満橋方面行きバス（１０１号）または「上本町六丁目方面行きバス（６２号）」で「上本町八丁目」下車
上本町八丁目バス停から徒歩１分